

平成28年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
一次	1. 市民健康増進事業「第5回津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前歩こう会	市民の健康増進と親睦交流を図るため、「津軽岩木スカイライン」をゆっくりと自分のペースで歩く健康増進事業を実施する。多くの参加者にウォーキングの素晴らしさを体感してもらったともに、岩木山の紅葉の絶景と弘前市の魅力を全国に発信する。	480,000	480,000	480,000	480,000
一次	2. 青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業「第3回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	時敏地区青少年育成委員会	今日の子もたちが失いつつある日本の伝統的文化と昔の遊びに親しむ機会を創出し、時敏地区内の子もたちと高齢者がふれあうことで世代間交流を図ると共に、地域の大人が協力して地域の子もたちの健全な成長を培うことに対する理解につなげる。	382,000	382,000	382,000	382,000
一次	3. 弘前駅前遊歩道賑わい祭 HIROSAKI JAZZ STREET 2016	弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会	弘前駅前公園及び遊歩道の週末の散策者・通行者が減少していることから、これらの場所を歩いたことがない市民が街歩きをするきっかけを作り出すため、市内外のJAZZバンドを多数招致し、ストリートライブ及びコンサートを開催する。イベントをきっかけに、より多くの市民が駅前の利便性に気づき、遊歩道を活用する人が増加することにより、地域の活性化につなげる。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	4. もったいない食育学習出前講座	特定非営利活動法人もったいないつがるの会	保育園児を対象とした出前講座を実施し、ダンボールコンポストで生ごみを堆肥化する方法や、廃食用油をローソクにする方法などを学んでもらい、その後、保育園では実際に生ごみ堆肥化の作業を園児たちに継続してもらう。ごみを減らすための作業を実際に行うことで、生ごみを出さないために給食を残さないという意識や、リサイクルへの理解につなげる。	347,000	347,000	347,000	96,000
一次	5. 「第4回世界一の桜並木道をノルディック・ウォーク」	青森県ノルディック・ウォーク連盟	比較的気軽に、誰でも取り組めるスポーツとして、2本のストックを使って歩く「ノルディック・ウォーク」の普及を図るために開催する。コースは7kmと18kmの2つを設け、世界一の桜並木や水芭蕉、文学碑などを觀賞し、猿を満喫してもらいながら、運動不足の解消や生活習慣病対策などの機会を創出し、市民の健康づくりを推進する。	162,000	162,000	162,000	145,000
一次	6. 若葉町会納涼祭り	若葉町会	津軽ダム工事の際に引っ越してきた住民と、元から地域に住む住民が交流するために行われるようになった納涼祭りを継続して開催する。多くの人が交流し親密に触れ合うことができる祭りにするため、子どもたちが準備段階から祭りに関わることで、高齢者世帯に声掛けをして参加を促すなど、地域内の連帯意識の向上を図り、町会活動の活性化や地域内の防犯対策につなげる。	94,000	94,000	94,000	94,000
一次	7. 乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町おこし協力会	乳井町会内で放棄され崩壊寸前だった史跡である茶臼館の沿道改修や、ホタルが集まるため池の泥上げなどの整備を行う。地域のこども会や消防団、老人クラブ等の参加を図りながら茶臼館からの絶景を見る会やホタルの鑑賞会、歴史勉強会を実施することで、地域の良さを再認識してもらい、愛着を高めていき、さらには地域内の歴史巡回小径の整備を進めていく。	418,000	418,000	418,000	311,000
一次	8. 弘前城の何でも歴史名人になろう。	南大町町会	町会の児童や生徒数が減少し、町会の行事に参加する子どもが少なくなってきたことから、世代間で交流を図れる事業として、町会の子どもたちと弘前公園へ行き、弘前城の歴史を学べる場を設ける。子どもたちが成長して郷土を離れても、弘前の良さを他の地域の人にアピールできるような、郷土への誇りを持った人間の育成を図る。	132,000	132,000	132,000	51,000
一次	9. 弘前さくらコンサート Vol.2	Rainbow Muse Hiroasaki	市民に質の高い音楽に触れてもらえる機会を創出するため、子どもから大人までのピアノ演奏だけでなく、小学生によるブラスバンドなど、さまざまな音楽を交えたコンサートを開催する。このコンサートを機に、来場者も出演者も、生涯教育としても音楽に触れてもらえるように、ピアノのソロ・デュオ・アンサンブル等の幅広い音楽の楽しみ方を知ってもらう。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	10. イキイキ健康クラブスマイル	イキイキ健康クラブスマイル	毎週木曜日に健康体操と、日頃の悩みや生活に役立つ情報交換や昔語りを聞いたり歌を歌う場を提供することや、年間行事としてコンサートや弘前に関する教養講座を実施する。定期的に体験することや文化的な活動を行うことで、心と体の両面からアプローチし、明るく健康で、生き生きとした生活を送る高齢者を増やしていく。	375,000	375,000	375,000	320,000
一次	11. 農園が変わる 集いの広場へ	北地区コミュニティ会議	地域住民の手で整備した交流農園を活用し、地域に住む子どもから高齢者までが野菜づくりを行うことによって、地域の連帯感を高める。子どもたちには野菜の生育から収穫までを体験してもらい、高齢者には農園の近くにある公園等で文化体験イベントに参加してもらい、仲間とのコミュニケーションを図るきっかけをつくる。	347,000	347,000	347,000	347,000
一次	12. 第5回こぎんフェス	こぎんフェス実行委員会	津軽地方に古くから伝わる「こぎん刺し」文化を発信し、観光客に知ってもらうことや、市民が弘前・津軽への誇りや愛着を醸成することを目的に、さくらまつり期間内に「こぎんフェス」を開催する。こぎん刺しの歴史や背景を知ってもらうパネル展示やワークショップ、新しいこぎんを提案する作家による講演会等を行うことで、こぎん刺しへの理解や関心をさらに高めるきっかけを作る。	374,000	374,000	374,000	325,000
一次	13. ～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～題「けの汁発祥の地和徳城」和徳城主 小山内讀坂の守没後445年祭	和徳歴史探偵団	和徳町の地域には、むかし、和徳城があったことや、その城主である小山内讀坂守が大浦漁信によって落城された歴史を持ち、落城前に兵士たちが食べた「けの汁」の発祥の地とされていることを、次代を担う子どもたちに伝え和徳の活性化につなげるため、郷土料理でもある「けの汁」コンテストを開催するほか、和徳の歴史を掲載した歴史マップやけの汁レシピを掲載したカレンダーを作成する。	500,000	500,000	500,000	500,000

平成28年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
一次	14. 津軽カタリスト 太宰治ドラマリーディング定期公演事業	津軽カタリスト	太宰治の短編小説をドラマリーディング形式にして、太宰治学びの家で公演する。太宰治の新しい魅力を再発見していただくこと、太宰と弘前のつながりをより多くの方に知っていただくこと、そして太宰に関係のある活動をリンクさせていくことで地域の活性化につなげることを目指す。	421,000	421,000	421,000	421,000
一次	15. ラベンダーロード再生事業	相馬地区小・中学校PTA連絡協議会	過去2年間で剪定や整備を行ってきたラベンダーロードの、全長の約半分に、まだ株ごとラベンダーがない部分があるため、その箇所への植栽を行う。今年は相馬小・中学校の児童や生徒と地域の住民が一緒になって、花壇にラベンダー苗を植え、荒れた花壇を再生し、維持管理をしていくことで、地区内の景観の保全を図る。	177,000	177,000	177,000	177,000
一次	16. みんな大好き「岩木山」から津軽の文化をもっと知ろう！～おやまシンポジウム～	津軽苗地域づくり実行委員会	市民が、お山参詣をはじめとする岩木山の行事を深く知ることから、「岩木山と自分」、「岩木山と先祖」、「岩木山と生活」を見直すきっかけを作るため、「おやまシンポジウム」を開催する。岩木山を取り巻く文化についての講演や、岩木山のから世界へと広がりを見せた担ぎ太鼓について、県内外のパネリストに話してもらおうパネリティスカッションを通し、より多くの市民に、ホスピタリティ能力を高め、岩木山の文化に誇りを持ってもらう場を創出する。	389,000	389,000	389,000	367,000
一次	17. 中心6商店街 接客英会話無料セミナー・観光英語ボランティア事業	弘前市英会話サークル Globish	「国際都市弘前」への一助とするため、市民と市内在住の外国人の国際交流や、外国人観光客へのおもてなしを目的として観光英語ボランティアセミナー、接客英会話セミナーを実施する。観光英語ボランティアセミナー後は、実際に4大祭りでのボランティア活動を行い、接客英会話セミナーでは接客に必要な基本的な英会話を学ぶことで、外国人に対するおもてなしができる。	500,000	500,000	500,000	369,000
一次	18. 大仏公園紫陽花まつり	石川町会	町会内にある大仏公園と、公園内に咲く紫陽花を広く市民に知ってもらうため、「紫陽花まつり」を開催する。公園内の各所にクイズポイントを設置したり、俳句や川柳の投函してもらい、公園内に展示するほか、イベント日には、紙ひこうき大会や祭りを盛り上げるためのジャズ演奏を行うことで、より多くの市民に大仏公園に足を運んでもらう。	411,000	411,000	411,000	408,000
一次	19. 「うまれる」「すっといっしょ」映画上映会	SEEDS NETWORK	自分自身や家族、友人や隣人の存在を再認識し、互いに助け合うことの大切さや児童虐待・いじめ・自殺・孤立といった問題に、社会の中における一人一人の存在の尊さを考え、行動するきっかけをつくるため、「うまれる」「すっといっしょ」という2本のドキュメンタリー映画上映会を開催する。	166,000	166,000	166,000	166,000
一次	20. みんなで、「サウンド・オブ・ミュージック」(ミュージカル)を歌おう！	弘前ねむの会ファミリーコーラス	小さいときから様々なものに触れることで、感性豊かな子どもに育ててほしいという思いから、手話、英語、踊りを取り入れたミュージカルを行う。出演する子どもたちは、講師や指導者を交えた約9か月の練習を通して、挨拶や礼儀作法、助け合いなども学ぶことができ、コミュニケーション能力の向上にもつながる。	419,000	419,000	419,000	415,000
一次	21. 過疎地域スポーツ推進事業「スポーツゲンキ教室」	特定非営利活動法人 スポネット弘前	少子化で部活動やスポーツ少年団もなく、運動をする環境がない地域の小学生のために、地域に出向いて定期的なスポーツ教室を開催する。送迎車を用意し、近隣の小学校に子どもたちを集めて運動することで、他校の生徒との交流を通して子どもたち自身のコミュニケーション能力の向上や、スポーツに親しむことを通じて地域全体を巻き込んだ形で地域の活性化を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	22. 弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	市民の心身の健康向上や不安解消を目的に、自然環境に恵まれた「市民の森」で各種健康法(森林療法、園芸療法、芸術療法)の体験を行う。また、「ストレスと病気をテーマとした健康セミナー・健康相談や、「ゲートキーパー」に関するセミナー、料理教室を開催し、心身の健康について知ってもらう機会を創出する。	215,000	215,000	215,000	215,000
一次	23. 自然を感じるキャンドルコンサート	「自然を感じるキャンドルコンサート」実行委員会	市民の方に自然の良さを感じながら、日ごろの疲れを癒していただきたいという思いから、音色の優しいグラスハーブとスティールパンを用いたコンサートをを行う。電気を使わないことで、原始的な楽器の良さや、自然の光や時の流れを感じていただく機会を創出することで、日々の生活を見直すきっかけをつくる。	163,000	163,000	163,000	163,000
一次	24. 桜祭りとの関連観光事業化を最終目的とした、街の文化的観光素材・魅力の再発見・価値化を目指したイベント活動事業。	サクラチルアウト実行委員会	GWの観光客が大勢訪れる時期に、桜が散ってしまっているという観光客誘致の条件としてはネガティブに捉えがちなことを、逆手の発想から、「サクラがチル」というキーワードと、「CHILL」いうコンセプトを融合させ、チルアウトミュージックとアートなどによるゆったりくつろげる場を創出し、市民や観光客に提供する。	446,000	446,000	446,000	425,000
一次	25. 子どもの健康づくり事業	美育・食育 はなか	心身ともに健康な子どもが増えることを目的とし、子どもを対象に、「美の心」、「豊かな心」を育てる美育と、元気になる食事法を学びながら作る「食べることを楽しむ食育」を行い、子どもたちの心と体が健やかに成長するために役立つプログラムを提供する。市内のさまざまなところで開催することにより、市内全域からの参加者を受け入れる。	130,000	130,000	130,000	68,000
一次	26. 「ひろさき美術館～侍町で会いましょう」事業	弘前アートプロジェクト実行委員会	国の重要伝統的建造物群保存地区である仲町伝統的建造物群保存地区と、そこに点在する4軒の武家屋敷を広く知ってもらい、これまで以上に文化財への理解や関心を持っていただくことを目的とし、現代アートの展示を行う。アートを媒体として、たくさんの人に足を運んでもらう、武家屋敷の新たな魅力を体感してもらう機会とする。	500,000	500,000	500,000	500,000

平成28年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
一次	27. 向外瀬町会 藩政時代へ旅する	向外瀬町会	町会行事への参加者が年々減少傾向にあることから、地域住民が同じ方向を向いて同じことに挑戦するため、町会内に保存されている古文書や古地図等を解明し、町会の歴史をたどる勉強会等を行う。地域の成り立ちや歴史を知ること、地域に対する愛着を高め、町会行事等への参加意欲を高めることにつなげる。	163,000	163,000	163,000	163,000
二次	28. “わ”と“な”の生き生きサークル	津軽保健生活協同組合	後期高齢者及び介護を受ける人が増加すると予想されており、健康寿命を延ばすためには、医療や介護の現場で働くセラピストのアプローチが重要であることから、65歳以上の市民を対象に、体力測定や体操などの健康講座を開催する。毎日の活動量を記録できる生活ノートや音楽に合わせた体操を取り入れながら、地域全体の介護予防と、住民の集いの場所となることを目指す。	158,000	158,000	158,000	94,000
二次	29. 城南サマーフェスタ	城南町会	少子高齢化と地方人口減少時代に適応するためには、町民相互支援と町会活動が重要であることから、町民同士の出会いの場を提供するサマーフェスタを開催する。多くの若者男女が会場で声を掛け合い、世代間交流が図られることによって、「目配り・気配り・心配り」の風気が浸透し、「安全で住みよい」まちを目指すとともに、町会活動の後継者を発掘する機会とする。	190,000	190,000	190,000	190,000
二次	30. おしごと体験広場 キッズハローワーク	おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会	子どもたちに、大人になることや働くことが素晴らしいと思ってもらうため、誰もが知っているメジャーな仕事から、地域性の強い仕事まで、社会には様々な仕事があることを体験・体感できる機会を創出する。また、社会の仕組みを感じ取ってもらうことで、職業観の醸成にもつなげる。	475,000	475,000	475,000	475,000
二次	31. 弘前暮らしの保健室	弘前暮らしの保健室	介護の仕方や病気になった時の対処の仕方、施設のことや薬の飲み方など、日々の生活の中で生じるちょっとした悩み事に対応するため、清水交流センターに暮らしの保健室を開設する。在宅医療に役立つミニ講座や介護の実習のほか、認知症を面白く理解するための公演を通じ、参加した人同士も気軽に相談し合え、相談ができる場があることの安心感を持ってもらう。	146,000	146,000	146,000	129,000
二次	32. 大沢サマーフェスティバル	大沢サマーフェスティバル実行委員会	これまで実施してきた祭りが年々マンネリ化してきており、参加者が減少していることから、昨年に引き続き開催する。また、4月に発生した熊本の大震災を教訓に、災害時に自分達ができることとして、炊出し訓練も同時に実施し、地域住民が一堂に会し、交流を深め、地域活性化を図ることにより、お互いの顔が見える関係を作り出し、自主防災などの活動にも役立てていく。	267,000	267,000	267,000	267,000
二次	33. 第2回藤代地区夏祭り	特定非営利活動法人 藤代地区活性化協議会	時代と急激な社会の変化により、藤代地区においても人口減少と高齢者社会の波が押し寄せてきていることから、地区のお年寄りから子どもまで、多くの住民が親睦を深める夏祭りを開催する。「住めば都」をスローガンに、藤代地域の各種団体と連携し、情報交換の機会を増やすことで、地域の活性化につなげ、地区外から藤代地区に移住する人を増やす。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	34. 高屋衆の村まつり	高屋町会	世代交代が進み核家族化が進む中、町会内の横のつながりが希薄になりつつあることから、町会内での協調と親睦を目的に、郷土愛を育む内容を交えた村まつりを開催する。一人暮らしのお年寄りを送迎したり、保育園や小学校の父兄が事業に関わることで、親睦や地域全体で見守る体制を深めることにより、今後の町会活動への原動力へつなげる。	490,000	270,000	270,000	270,000
二次	35. ハルシーエイジング	ハルシーエイジング	高齢になると、若い時のように日常生活を送ることが困難になるため、高齢者自身が高齢者の目線で、これらの課題と向き合うため、同じ課題意識を共有する仲間と共に、運動・健康講話・写経などの講座を行う。生活習慣病や骨格筋の衰退による転倒及び歩行不能の予防など、現在の健康状態の維持に努め、残りの人生を心豊かに過ごすことを目指す。	216,000	216,000	216,000	216,000
二次	36. 初めての避難訓練	栄町町会	今まで、災害等を想定した町民対象の避難訓練を一度も実施したことがなかったため、自主防災会を立ち上げたことをきっかけに、「自主防災会」の担当者を主体として、町民を安全に避難誘導するための避難訓練を実施する。また、婦人クラブによる炊出し訓練も行い、担当者が、それぞれの役割を認識しながら連携することで、参加者が自ら取るべき行動を身に付ける。	306,000	306,000	306,000	294,000
二次	37. 「グッド・トイ2016in ひろさき」の開催	青森グッド・トイ委員会	子どもたちだけでなく、障がいを持った方や高齢者を対象に、良い玩具（特に木製）の展示や、玩具で自由に遊ぶことができるスペースを提供し、優良な玩具の選び方を知ってもらい、その場で遊ぶ子どもたちの自然な交流を図る。また、木材を使った子ども向けのワークショップや、子育て支援や療育などの専門家向けの研修会を実施する。	345,000	345,000	345,000	234,000
二次	38. 予防救急に関する告知活動及び、出前講習会の実施	特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構	最近、高齢者の自宅での死亡・けがのリスクが高まっている傾向にあることから、小さな事故やけがを防止する「予防救急」の考えを広めるため、「予防救急」に関するテキストを作成し、今後講習会を行う際に教える立場になる人を養成する勉強会を実施する。また、勉強会で知識を得た人が、実際に教える一般向けの講座や出前講習を開催し、地域に向けて「予防救急」を発信していく。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	39. 石坂洋次郎没後30年「甦る 戦後の大ベストセラー作家 石坂洋次郎」	弘前バンククラブ	弘前が生んだ昭和の日本を代表する作家である石坂洋次郎の没後30年にあたる今年、石坂文学に場をあてるため、石坂作品の映画上映と、弘前市出身の直木賞作家で評論家である長部日出雄氏の講演会を開催する。石坂作品に対する市民の関心を高めるとともに、偉大な作家を輩出した弘前というまちに誇りや愛着を持つ市民を育み、文化都市弘前というまちの魅力の向上を図る。	387,000	387,000	387,000	387,000

平成28年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
二次	40. 「第3回弘前城Q&R」開催事業	弘前城Q&R実行委員会	若者の健康増進や、ボランティアとしての社会参加のきっかけづくりのため、本丸を含む弘前公園で、鬼から逃げながらクイズやミッションをクリアしていく「弘前城Q&R」というイベントを開催する。弘前に関係のあるクイズや、弘前の魅力を再発見できるようなミッションを準備することで、弘前市への興味・関心の向上を図る。また、小学生版を開催することで、小さいころの体験によって弘前と運動が好きなら若者の成長に寄与する。	500,000	500,000	500,000	375,000
二次	41. 国際交流事業（1）国際交流夏祭り（2）国際交流餅つきフェスティバル	桔梗野町会	町会内にある弘前大学国際交流会館に居住する留学生・弘前大学関係者と町会住民が交流を図るため、国際交流夏祭りと餅つきフェスティバルを開催する。夏祭りでは、盆踊りや留学生のスピーチ、餅つきフェスティバルでは留学生の餅つき体験、留学生による合唱・民族舞踊といった、それぞれの文化を体験してもらうことで、お互いの理解を深め、親睦を深める。	127,000	127,000	127,000	127,000
二次	42. 岩木山エコプロジェクト	岩木山観光協会	岩木山は美しい山であるのに、登山客やトレkkerから山中に廃棄物が目立つという話が多く寄せられていることから、「岩木山がスキナダ」を合言葉に、美化活動を実施する。遊歩道や登山道を主体に、不法投棄の收拾活動を実施するほか、エコフォーラムや写真展などの啓蒙啓発活動に力をいれることにより、弘前市民の環境問題に対する意識の向上とエコ活動の浸透を図る。	500,000	500,000	500,000	473,000
二次	43. 指定民俗無形文化財 鳥井野獅子踊保存活性化事業	鳥井野獅子踊保存会	近年、後継者が不足している獅子踊りについて、後世に継承していくために、歴史やこれまでの歩み、踊り方、演奏方法などの情報をまとめた冊子を作成する。また、講演やワークショップを行い、これからのあるべき姿やどのように継承していくのかを考える機会とする。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	44. 第3回「住み慣れた地域で最期まで」を支えあう街づくり講演会 YES!Can～“やりたいこと”を“できること”に～	ひろさきナラティブ.net	高齢になり、医療が必要な状態となっても、地域でその人らしく暮らしていけるように、市民が積極的に関わっていけるような市民主体の地域包括ケアのまちづくりを目指し、「介護・リハビリテーション」をテーマに講演会を開催する。リハビリテーションによって、要介護状態にならず、やりたいことを自分の力でできるという意識を地域に浸透させることによって、「住み慣れた場所で自分らしく最後まで暮らす」ことへつなげていく。	158,000	158,000	158,000	140,000
二次	45. 「あのね、知ってる?ここにもフランス」プロジェクト	弘前グローバル・アクション	蓬萊広場でフランス風マルシェを開催し、弘前大学との協定校があるポルドーでの取材や弘前紹介のイベントについての展示を行ったり、フランス語の文化やことばを体験できるワークショップ等を行うことで、異文化発信、国際交流の場を創出する。また、弘前市内でフランスとの関わりがあるお店などを紹介するリーフレットを製作し、まちの人々を通じた弘前の魅力を再発見してもらうきっかけをつくる。	415,000	415,000	415,000	343,000
二次	46. ギネス記録も持つ!!津軽の笛が大集合! 第4回津軽笛博覧会	津軽笛地域づくり実行委員会	ねぶたや立辰武多、登山囃子などの津軽の笛や太鼓、手摺鉦などのワークショップや、津軽の郷土芸能と津軽笛の共演コンサートを開催する。今年から、全国で唯一の生の笛コンテスト・全日本横笛コンクールの翌日に開催し、市外からの注目度を上げるほか、津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、ねぶた等での笛指導者のレベルアップを図るとともに、観光客を呼び込むための資源として発信していく。	500,000	500,000	500,000	414,000
二次	47. ワクワク・ときどき?! ひろレクパーク「気軽に体験!楽しい時間・楽しく健康。笑顔の自分を探しに行こう!」知力・体力・技ありの良いとこどり3大イベント	特定非営利活動法人ひろさきレクリエーション協会	市民のみみなで一緒に楽しみながら、健康づくりのきっかけとなることを目的に、市内を歩きながらゲーム等にチャレンジする「ウォークラリー大会」、さまざまな分野を体験していただく「レックひろレクデー」、少し支援の必要な子どもへの関わり方を学ぶ「レクリエーションでんご盛り」という3つのイベントを開催する。このイベントで、市民を巻き込んだ交流の場を創出し、誰もが自分なりに楽しさや幸福を感じる色々な出会いやきっかけを提案する。	175,000	175,000	175,000	111,000
二次	48. 親子の触れ合い「親子じゃれつき遊び」と子どもの生活習慣・体力・社会性をほぐす「コーディネーションを取り入れた運動遊び」	子育て支援サークル ママズクラブ	親子関係を育てること、子どもの健康づくりや仲間作りになること、養育する親が幼児期についての学習をしたり、子育ての悩みなど情報交換をする場になることを目的に、定期的に子どもの遊ぶ機会をつくる。親子がぐれあいながら遊ぶことや子どもの運動遊びを通して、親子関係や、子どもの想像力を養う。また、講師を招き、子育て中のママのケアについての講座も開催する。	98,000	98,000	98,000	51,000
二次	49. 岩木山YOGAフェスティバル	岩木山YOGA実行委員会	男性が参加しづらい、柔軟性がないとできない、と思われがちなのを気軽に体験してもらうため、ヨガフェスティバルを開催する。「男ヨガ」や「オフィスヨガ」といった新しい切り口のヨガによって、ヨガは心身の健康にもつながることを知ってもらおう。また、開催場所を岩木山とすることで、岩木山の自然の大切さを知ってもらい、岩木山を自分たちで守ろうという気持ちを上場させるようなブースなどを設置する。	421,000	421,000	421,000	421,000
三次	50. 冬季に春待つ土造りプロジェクト	特定非営利活動法人もったいないつがるの会	県内でもごみの排出量が多い弘前市のごみ減量・資源化をより進めていくために、冬季に室内でダンボールコンポストで生ごみ減量・土造りができることを広く市民に紹介し、個人だけでなくグループでの参加してもらえようとする。また、参加者からは取り組んだ結果を提出してもらい、それらを取りまとめて市民に向けた報告会を行う。	408,000	408,000	408,000	395,000
三次	51. 喫煙および受動喫煙の害のない弘前市を実現するための活動	青森県タバコ問題懇談会 弘前支部	青森県は、喫煙率が男女ともに高く、短命の原因の一つとなっていることから、タバコの健康被害に関するシンポジウムを開催することや、公共的施設の受動喫煙対策の現状を調査し、その結果を市民に広く発信することで、禁煙率や受動喫煙を減少させ、飲食店などを含む公共的な施設での禁煙化を進めるなどの啓発を行う。	466,000	466,000	466,000	183,000
三次	52. 豊田小学校通学路排雪事業	豊田小学校父母と教師の会	行政の委託業者による除排雪が追いつかないという状況の中、平成25年3月には雪でずり鉢状になった通学路で児童が怪我をする交通事故が発生した。事故の再発を防ぐため、業者による除排雪が実施されるまでの期間、PTAを主体にして地域内にある除雪機を利用し、危険箇所の排雪をピンポイントで行い、通学路の安全を確保する。	82,000	82,000	82,000	52,000

平成28年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
三次	53. テクノ DE 合コン	テクノ DE 合コン運営委員会	人と人の出会いや、団体・個人を含めた社会交流を目的として、音楽イベントを開催する。音楽は、弘前では広く知られていない「テクノ」というジャンルを取り入れることで、新しい文化を紹介する機会とする。また、県外から有名アーティストを招聘することで、イベントの周知とともに弘前市を広くPRしていく。	500,000	500,000	500,000	481,000
三次	54. 大自然を感じよう！秋に炊事にチャレンジだ！！	5-Between	障がいのある子どもを対象とした市内のイベントが少ないことを受け、弥生いこいの広場で障がい児を対象とした炊事体験と外遊び体験を実施する。障がいのある子どもは普段「される側」であることが多いが、炊事で保護者のために作ることで、「する側」の立場を体験していただくとともに、外遊びでは自然と触れ合いながら、外で遊ぶ楽しさを感じていただく機会とする。	9,000	9,000	9,000	6,000
三次	55. コミュニティシネマ事業「harappa映画館」	NPO法人 harappa	中心市街地を会場として、県内で上映されることが少ないミニシアター系の映画や、新作のドキュメンタリー映画を上映する。上演終了後には、メディアリテラシーを育む取組として、監督や俳優などによるティーチンも併せて行う。中心市街地において映画上映の機会を設けることで、地域との連携を高め、街中の賑わい創出に寄与する。	400,000	400,000	400,000	331,000
三次	56. 冊子「三大地区“地域の絆”」改訂版作製事業	三大地区地域づくり連絡協議会	危険箇所や子ども110番の家、地域の歴史や史跡、避難場所や緊急連絡網などをまとめた「地域の絆」を平成24年度に作製し、小学生や地域に配布したが、現在の小学校4年生以下の児童が冊子を持っておらず、活用してもらえない機会が無くなっているため、新たな情報を盛り込んだ改訂版を作製し、第三大成小学校児童をはじめ、地域の人に配布し、活用してもらう。	256,000	256,000	256,000	256,000
三次	57. 小学校体育支援事業～運動大好きプロジェクト～	特定非営利活動法人 スポネット弘前	少子化によるスポーツ少年団の加入数の減少や部活の停滞によって、子どもたちのスポーツ実施率が低下していることから、学校の教員と専門の指導者が連携することで体育の授業の充実を図る。子どもたちが楽しみながら体育の授業に打ち込める環境を作ることで、運動を好きになってもらい、また、運動する習慣が根付いていくことで、健康増進や精神面の安定、健全育成に寄与する。	279,000	279,000	279,000	239,000
三次	58. 第3回弘前城リレーマラソン冬の陣	特定非営利活動法人 スポネット弘前	平均寿命が低迷している要因の一つとして、運動不足が上げられることから、楽しみながら気軽に運動できる環境を作る必要がある。そこで、積雪や寒さなどが影響して、運動不足になりがちな冬に、誰もが気軽に楽しみながらできるランニングの大会を開催し、冬の運動不足の解消や運動初心者の運動を始めるきっかけとなることで、弘前市民の長寿及び短命県返上を目指すとともに、スポーツツーリズムを推進する。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	59. ウィンタースポーツ岩木山2017	岩木山観光協会	「健康と観光」を活動目標とし、冬の岩木山で楽しめるウィンタースポーツのイベントを開催する。エアボードなどの新しい種目の紹介や、体験できる場を設け、冬の岩木山の楽しみ方を体験してもらうことで、話題性とたくさんの方の流れを生み出しながら、韓国や台湾から訪れる人を主としたインバウンド活動を推進する。また、外国人観光客に、弘前市内の魅力も発信しながら、弘前市全体の経済効果へとつなげていく。	500,000	500,000	500,000	500,000
合 計				19,985,000	19,765,000	19,765,000	17,862,000

申請事業65事業 19,985千円
採択事業59事業 19,765千円
交付決定事業 59事業 17,862千円